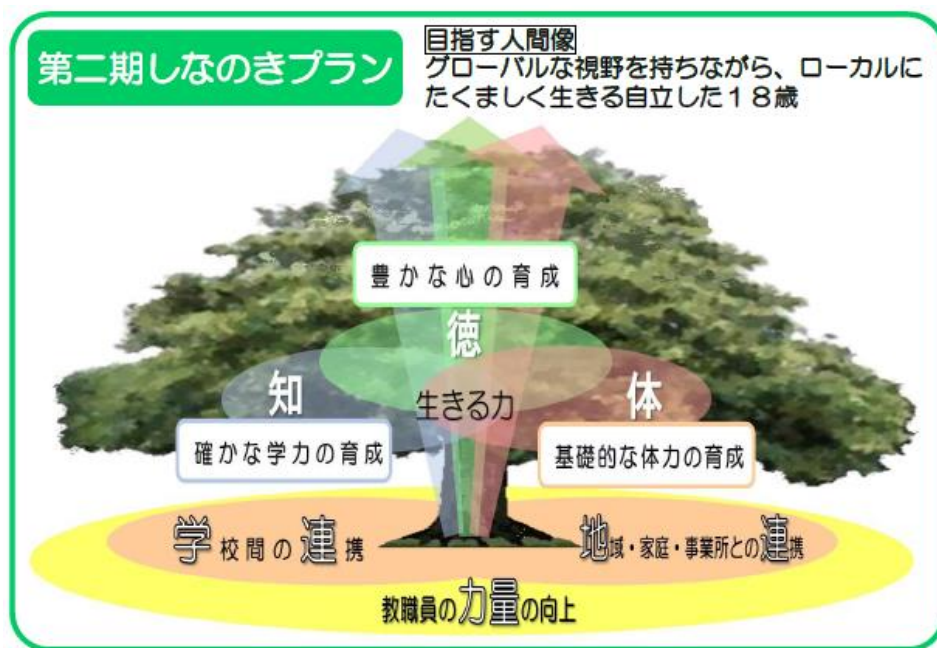


平成30年度 全国学力・学習状況調査

長野市の結果分析と 学力向上に向けて



平成30年10月

長野市教育委員会

目 次

本年度の調査概要	1
I 教科・調査別結果の概要	2
1 小学校	
(1) 小学校国語 A	
(2) 小学校国語 B	
(3) 小学校算数 A	
(4) 小学校算数 B	
(5) 小学校理科	
(6) 本市小学生の平均正答率と結果推移	
2 中学校	5
(1) 中学校国語 A	
(2) 中学校国語 B	
(3) 中学校数学 A	
(4) 中学校数学 B	
(5) 中学校理科	
(6) 本市中学生の平均正答率と結果推移	
3 授業改善に向けた取り組みの方向	8
(1) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の状況	
(2) 算数・数学の現状	
II 「第二期しなのきプラン」に照らした今後の方向	10
資料 質問紙調査から見た「第二期しなのきプラン」の現状	11

本年度の調査概要

- (1) 実施日 平成30年4月17日(火)
- (2) 教科に関する調査
 - ・小学校 国語 A・算数 A (主に「知識」に関する問題)
国語 B・算数 B (主に「活用」に関する問題)
理科
 - ・中学校 国語 A・数学 A (主に「知識」に関する問題)
国語 B・数学 B (主に「活用」に関する問題)
理科
- (3) 生活習慣や学校環境に関する質問紙調査
 - ① 児童生徒に対する調査
 - ② 学校に対する調査
- (4) 調査対象数

市立小学校6年生	54校	3,240人
市立中学校3年生	24校	3,057人

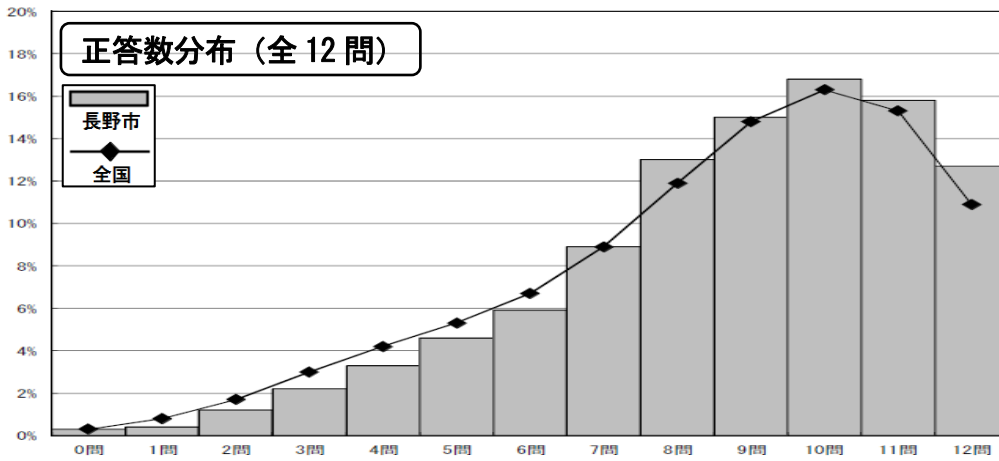
I 教科・調査別結果の概要

1 小学校

小学校全体の結果の概要

- 全体的に、**全国平均並みの正答率**であり、**国語A、理科は全国平均を上回っています。**
- 算数Aと算数Bは、昨年をやや下回っており、さらなる指導改善を進めていく必要があります。**
- 正答率 40%以下の児童の割合はすべての科目で全国平均より低く、**下位の層が少ない**状況にあります。

(1) 小学校国語 A問題 (知識に関する問題)

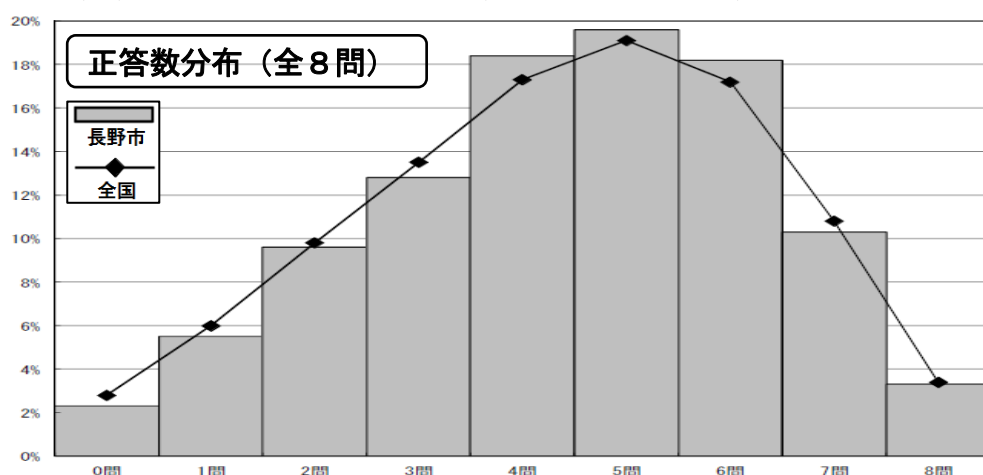


	正答率 40% 以下 (0 ~ 4 問正解)	正答率 80% 以上 (9 ~ 12 問正解)
長野市	7.4 %	45.3 %
全国	10.0 %	42.5 %
差 (前年)	-2.6 (-1.4)	+2.8 (+3.5)

- ・正答数の分布は、正答数の多い側に集中した山型になっています。長野市の分布は全国と比較して、6問以下正答者が少なく、8問以上正答者が多くなっています。
- ・正答率 40%以下の児童の割合は全国より 2.6 ポイント低く、正答率 80%以上の児童の割合は、全国より 2.8 ポイント高くなっています。

上位の層が多く、下位の層が少ない分布で、全国より高い傾向が見られます。

(2) 小学校国語 B問題 (活用に関する問題)

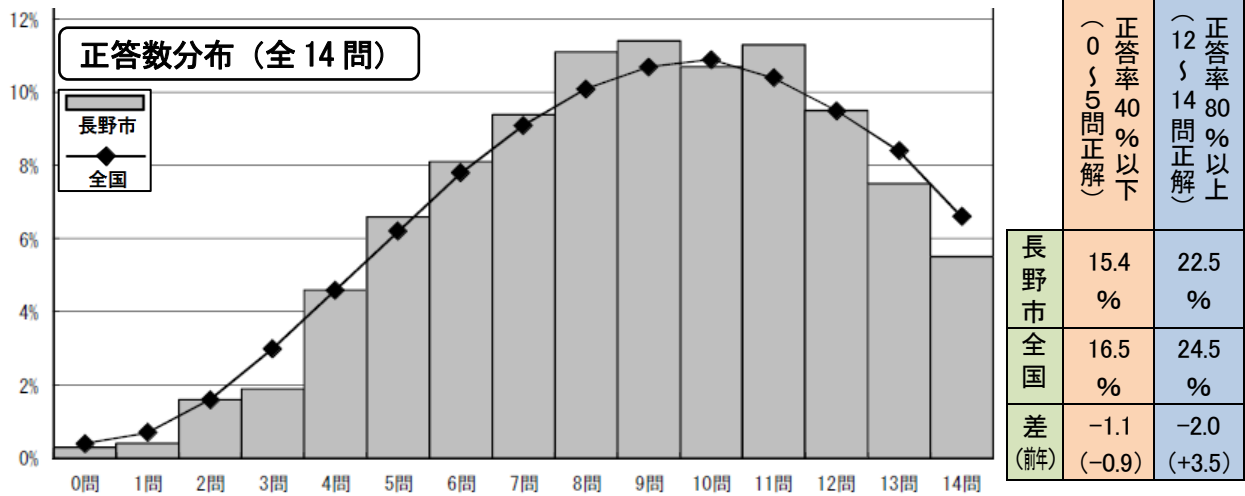


	正答率 40% 以下 (0 ~ 3 問正解)	正答率 80% 以上 (7 ~ 8 問正解)
長野市	30.2 %	13.6 %
全国	32.1 %	14.2 %
差 (前年)	-1.9 (-2.0)	-0.6 (+0.6)

- ・正答数の分布は、中央付近に集中した山型になっています。長野市の分布は全国と比較して、4問～6問正答者が多くなっています。
- ・正答率 40%以下の児童の割合は全国より 1.9 ポイント低く、正答率 80%以上の児童の割合は、全国より 0.6 ポイント低くなっています。

中位の層が多い分布ですが、ほぼ全国並の分布です。

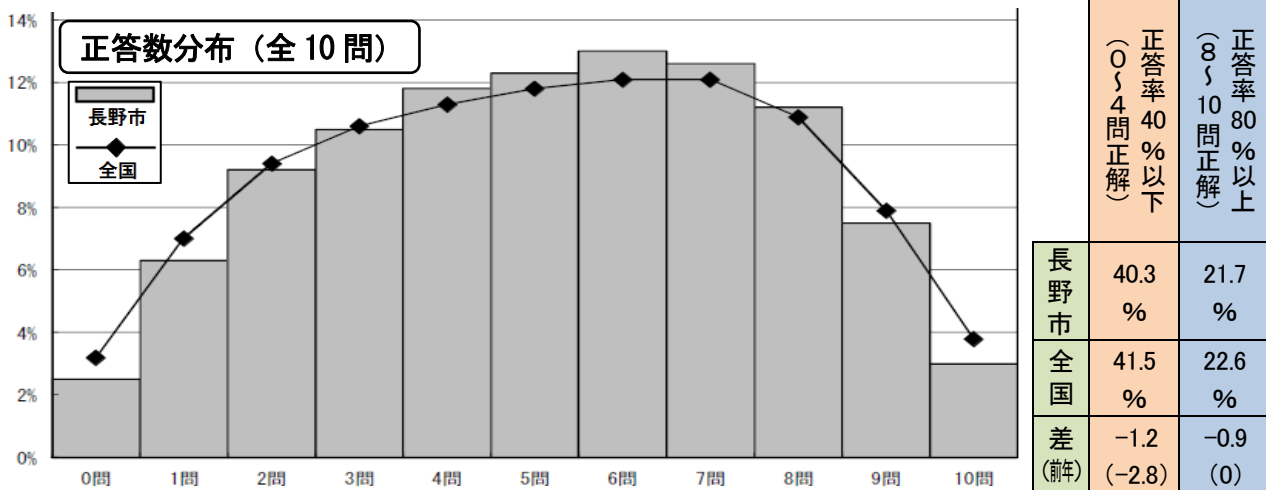
(3) 小学校算数 A問題 (知識に関する問題)



- ・正答数の分布は、中央付近に集中した山型になっています。長野市の分布は全国と比較して、5問～9問正答者が多くなっています。
- ・正答率 40%以下の児童の割合が全国より 1.1 ポイント低く、正答率 80%以上の児童の割合は、全国より 2.0 ポイント低くなっています。

上位の層が少なく、中位の層が多い分布ですが、ほぼ全国並の分布です。

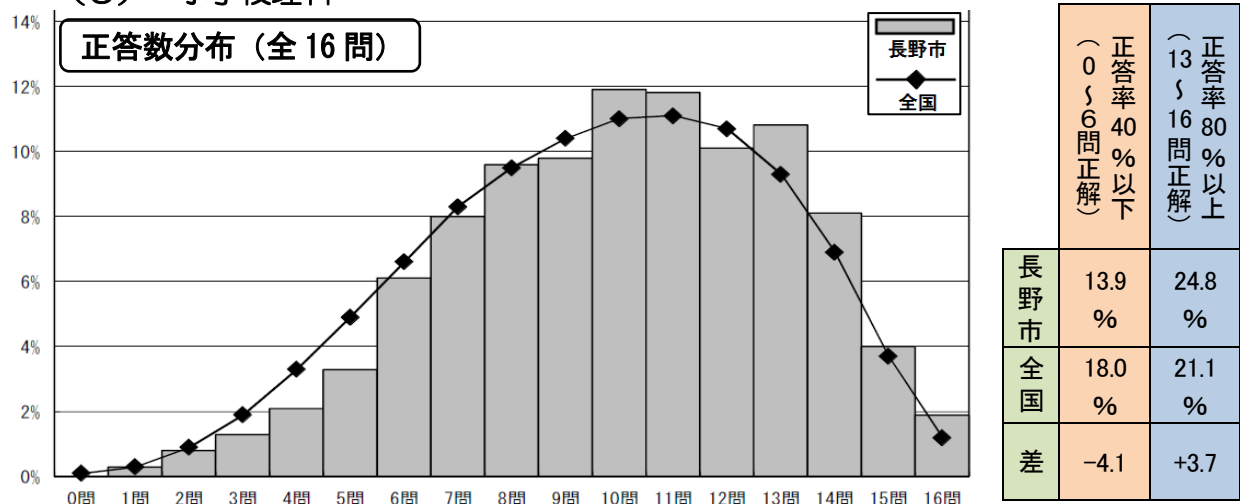
(4) 小学校算数 B問題 (活用に関する問題)



- ・正答数の分布は、横広がりな山型になっています。長野市の分布は全国と比較して、4問～8問正答者が多くなっています。
- ・正答率 40%以下の児童の割合は、全国より 1.2 ポイント低く、正答率 80%以上の児童の割合は、全国より 0.9 ポイント低くなっています。

上位の層と下位の層が少なく、中位の層が多い分布ですが、ほぼ全国並の分布です。

(5) 小学校理科



- ・ 正答数の分布は、正答数の多い側にやや寄っている山型になっています。長野市の分布は、全国と比較して、7問以下正答者が少なく、13問以上正答者が多くなっています。
- ・ 正答率 40% 以下の児童の割合は全国より 4.1 ポイント低く、正答率 80% 以上の児童の割合は、全国より 3.7 ポイント高くなっています。

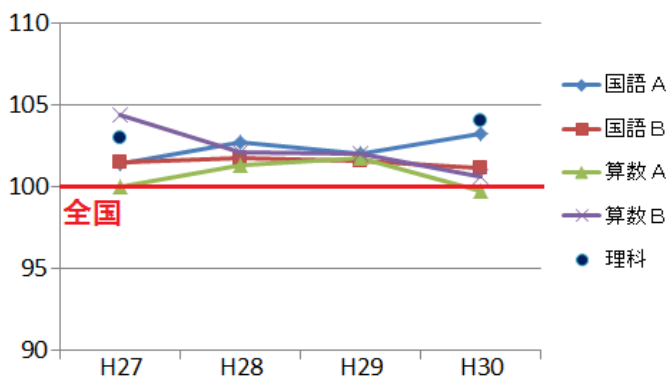
上位の層が多く、下位の層が少ない分布で、全国より高い傾向が見られます。

(6) 本市小学生の平均正答率と結果推移

本市及び長野県、全国の正答率 (%)

	長野市	長野県	全国
国語 A	73	72	70.7
国語 B	55	55	54.7
算数 A	63	62	63.5
算数 B	52	50	51.5
理科	63	61	60.3

全国の正答率を 100 とした場合の結果の推移



- ・ 平成 27 年以降の結果の推移から、全国平均を安定的に上回る傾向がみられます。
- ・ 本年の結果では、算数 A と算数 B が、昨年をやや下回っていますが、国語 A、理科は上昇傾向にあります。算数の学習について、さらに指導改善を進めていく必要があります。

「しなのきプラン 29」(平成 27 年 4 月策定)の指導改善サイクル*の推進より、算数にはやや課題がみられるものの、全体的には全国平均を上回る傾向があります。

※指導改善サイクル



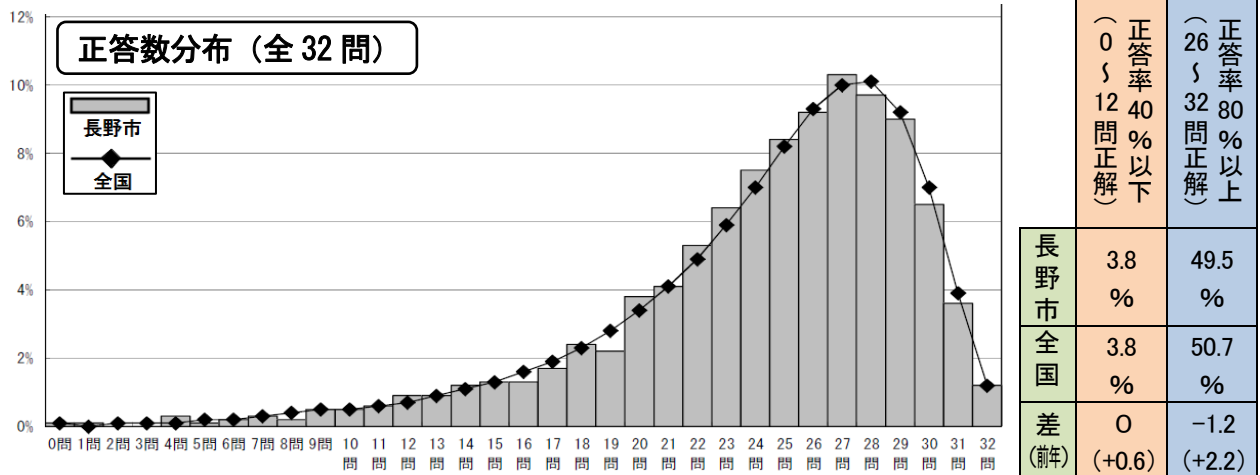
本市では、標準学力検査 (NRT) を小学校 4 年生～6 年生を対象に実施しており、この結果を指導改善にいかしています。

2 中学校

中学校全体の結果の概要

- 全体的に、全国平均並みの正答率となっていますが、数学A、数学Bで全国平均をやや下回っています。
- 数学Aは、昨年を上回っているものの、数学Bでは、昨年を下回りました。数学の学習について、さらなる指導改善を進めていく必要があります。
- 正答率40%以下の生徒の割合は、数学A、数学B、理科で全国よりやや多いものの、昨年の調査結果よりも減少しており、下位の層が少なくなりつつあります。

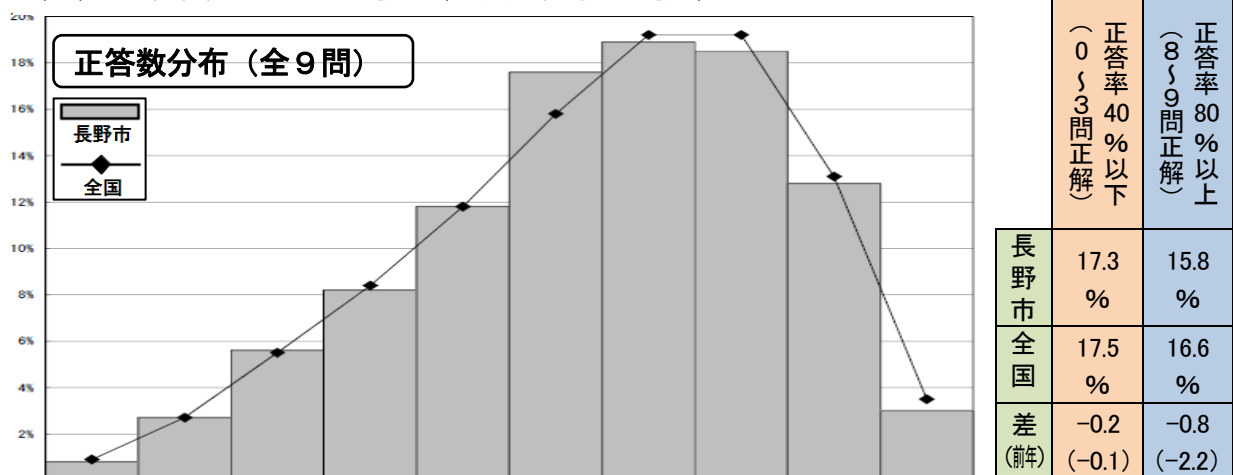
(1) 中学校国語 A問題 (知識に関する問題)



- ・正答数の分布は、正答数の多い側に集中した山型になっています。長野市の分布は、28問～31問正答者がやや少ないものの、全国と比較して大きな差はみられません。
- ・正答率80%以上の生徒の割合は、全国比で1.2ポイント低くなっています。

ほぼ全国並の分布です。

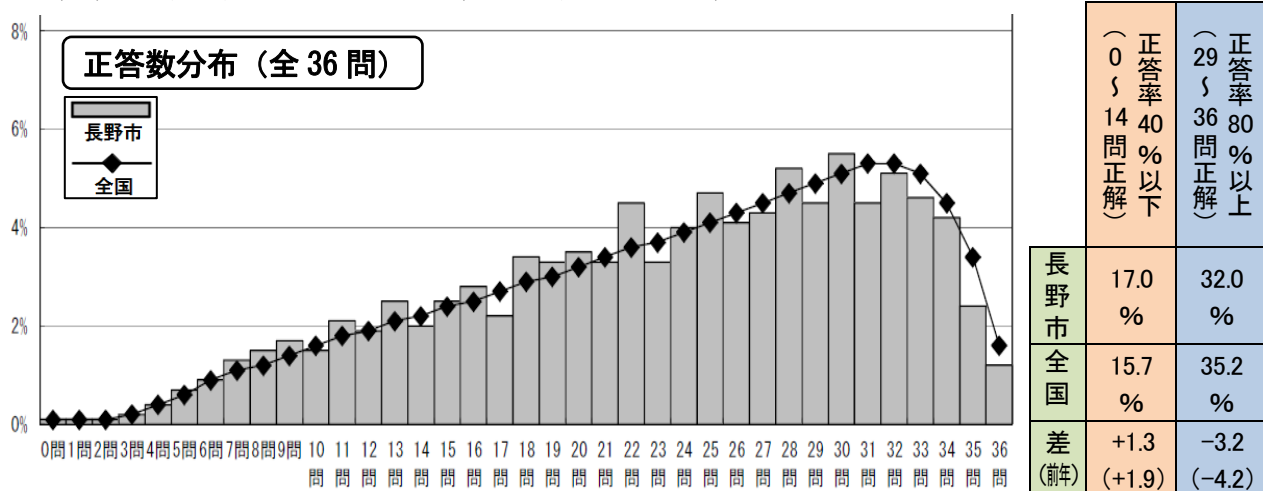
(2) 中学校国語 B問題 (活用に関する問題)



- ・正答数の分布は、正答数の多い側に集中した山型になっています。長野市の分布は、全国と比較すると、5問正答者が多くなっていますが、ほぼ全国並となっています。
- ・正答率40%以下の生徒の割合は全国より0.2ポイント低く、正答率80%以上の生徒の割合は、全国より0.8ポイント低くなっています。

中位の層の一部が多い分布ですが、ほぼ全国並の分布です。

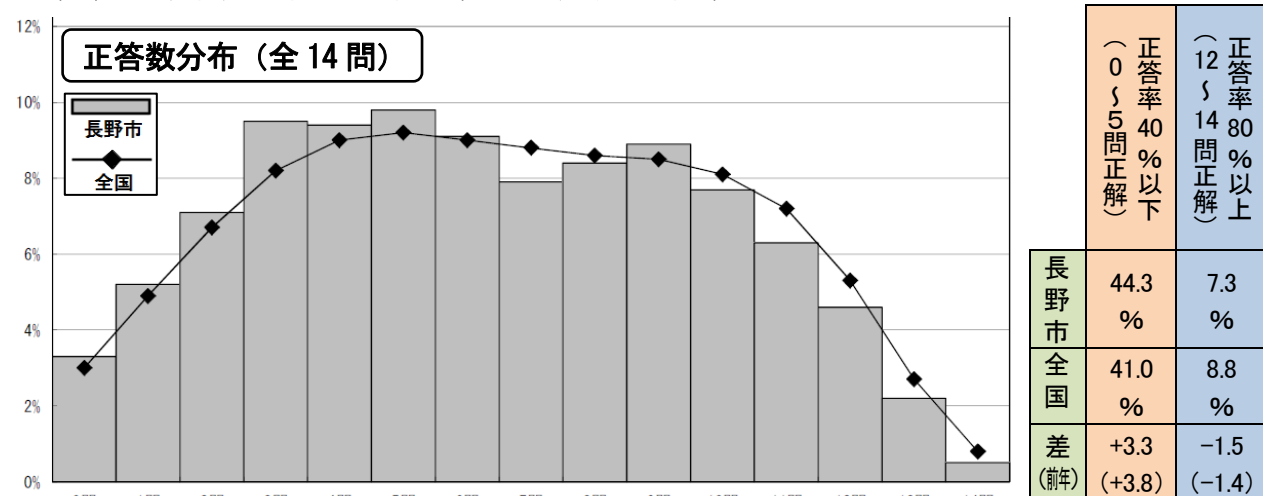
(3) 中学校数学 A問題 (知識に関する問題)



- ・正答数の分布は、正答数の多い側に集中した山型になっていますが、長野市の分布にはややばらつきが見られます。31問以上正答者は、全国と比較して少なくなっています。
- ・正答率 40%以下の生徒の割合が全国より 1.3%高く、正答率 80%以上の生徒の割合は、全国より 3.2ポイント低くなっています。

上位の層が少なく、下位の層が多い分布で、全国より低い傾向が見られます。

(4) 中学校数学 B問題 (活用に関する問題)

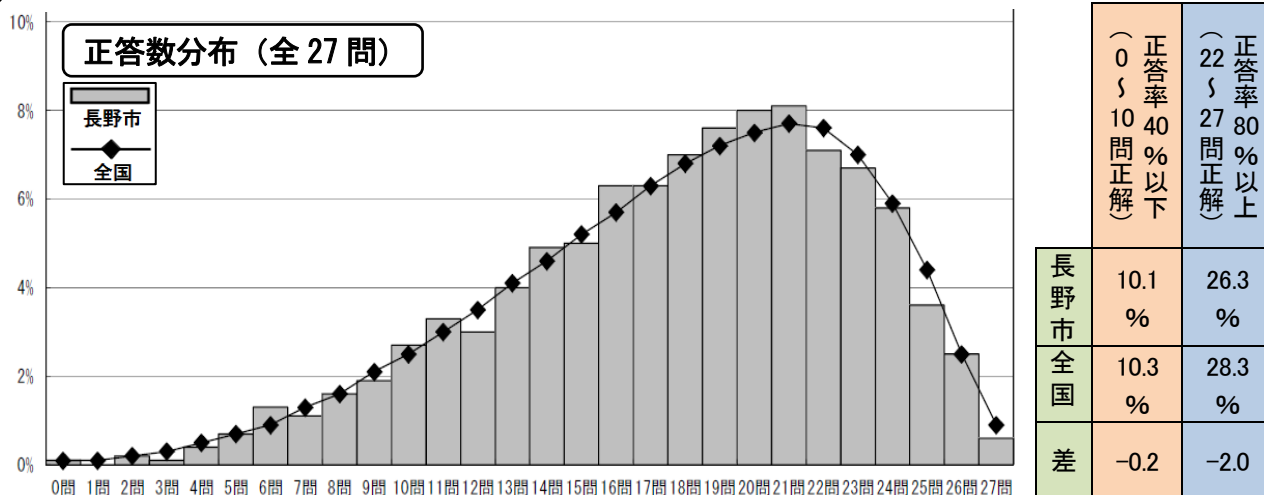


- ・正答数の分布は、横広がりな山型になっていますが、長野市の分布には山が二つあり、二極化の傾向が見られます。5問以下正答者が多く、10問以上正答者が少なくなっています。
- ・正答率 40%の生徒の割合は全国より 3.3ポイント高く、正答率 80%以上の生徒の割合は、全国より 1.5ポイント低くなっています。

上位の層が少なく、下位の層が多い分布で、全国より低い傾向が見られます。

中位の層の一部が少なくなっているため、二極化の傾向が見られます。

(5) 中学校理科



- ・ 正答数の分布は、正答数の多い側に集中した山型になっています。長野市の分布は、22 問以上正答者がやや少なくなっていますが、全国と比較して大きな差は見られません。
- ・ 正答率 40%の生徒の割合は全国より 0.2 ポイント低く、正答率 80%以上の生徒の割合は、全国より 2.0 ポイント低くなっています。

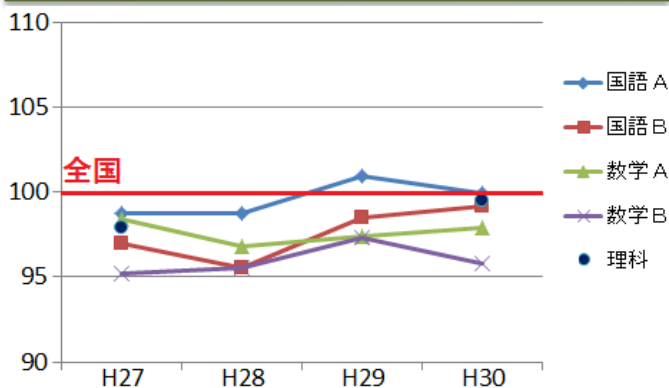
ほぼ全国並の分布です。

(6) 本市中学生の平均正答率と結果推移

本市及び長野県、全国の正答率 (%)

	長野市	長野県	全国
国語A	76	76	76.1
国語B	61	61	61.2
数学A	65	65	66.1
数学B	45	46	46.9
理科	66	66	66.1

全国の正答率を 100 とした場合の結果の推移



- 平成 27 年以降の結果の推移から、全体的には緩やかに上昇している傾向がみられます。
- 数学では、数学Aで昨年を上回っているものの、数学Bでは、昨を下回っています。数学の学習について、さらに指導改善を進めていく必要があります。

「しなのきプラン29」（平成 27 年 4 月策定）の指導改善サイクルの推進により、数学には課題が見られるものの、H27 以降、緩やかな上昇傾向がみられます。
 「第二期しなのきプラン」により、中学校における指導改善サイクルの構築※をさらに推進していきます。

※「中学校における指導改善サイクルの構築」（指導改善サイクルは、P4を参照）

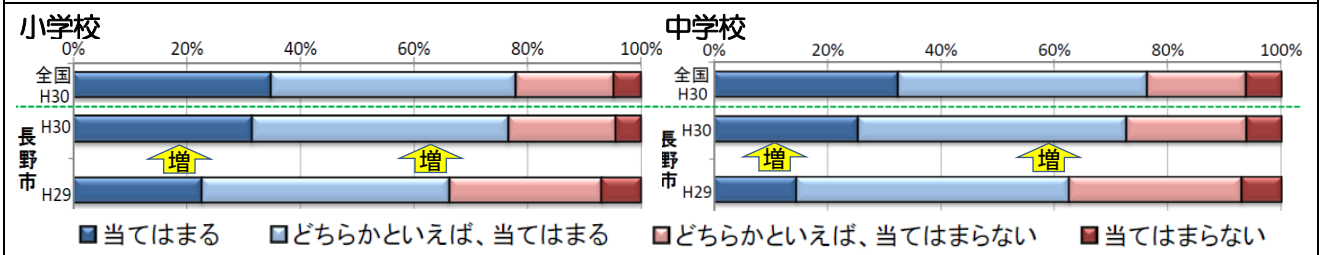
本市では平成 30 年度から、標準学力検査（NRT）を中学校 2 年生まで拡大して実施しており、この結果を活用した指導改善サイクルの構築を中学校でも推進しています。

3 授業改善に向けた取り組みの方向

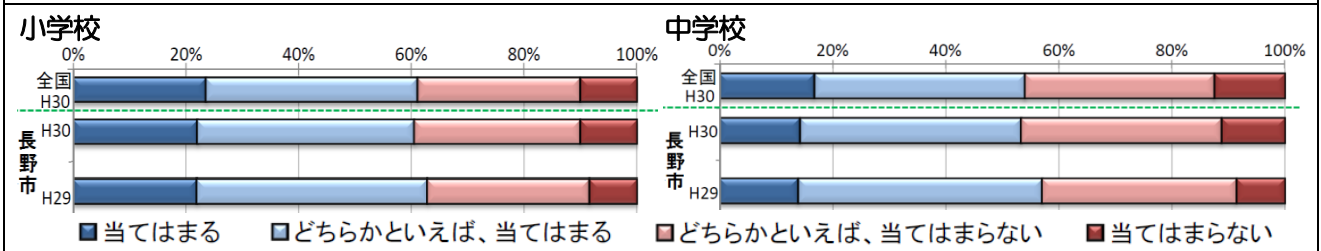
(1) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の状況（児童生徒質問紙調査から）

新しい学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指しており、本市でも、そのための取り組みを「第二期しなのきプラン（P11 参照）」に掲げています。ここでは、児童生徒質問紙調査から、本市の「主体的・対話的で深い学び」の現状を分析します。

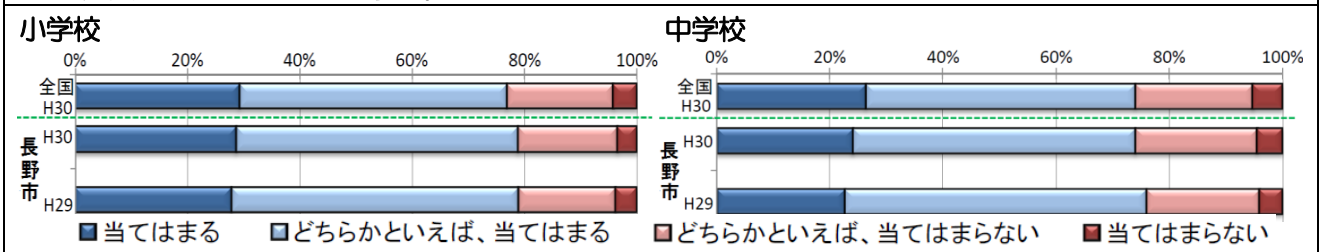
① 学級の友達との間（生徒の間）で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。



② 5年生まで（中学校1、2年生のとき）に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか。



③ 5年生まで（中学校1、2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。



- 各質問について、小学校、中学校ともに「当てはまる（より強い肯定的回答）」と答える児童生徒は昨年並、または増加しており、**主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が進んでいる**様子があります。
- ①「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の質問では、小学校、中学校ともに肯定的回答が大幅に増加しており、**授業の中で児童生徒が関わり合う場が増えている**ことがうかがえます。
- ②「自分の考えを発表する機会」の質問については、肯定的な回答全体では、小学校、中学校ともに昨年よりやや低くなっています。**児童生徒が自分の考えを表現する場面の充実をさらに図っていく**必要があります。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が進みつつあります。長野市では「第二期しなのきプラン」（P11 参照）を推進しており、この取り組みにより、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指していきます。

(2) 算数・数学の現状

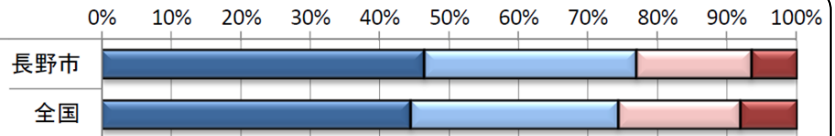
本年度の各教科の調査結果から、小学校、中学校ともに、算数・数学の指導改善の必要性が見えてきています。ここでは、児童生徒質問紙の分析から、算数・数学の指導改善の方向を探ります。

① 質問紙調査の状況

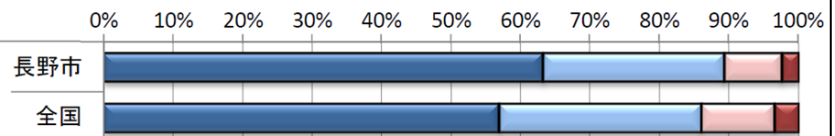
【小学校】

肯定的回答が比較的高い質問

算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いませんか。



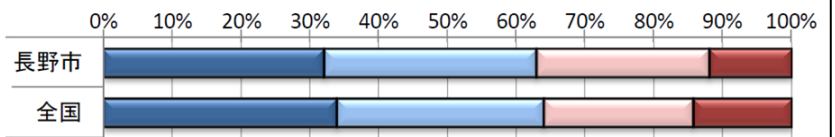
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。



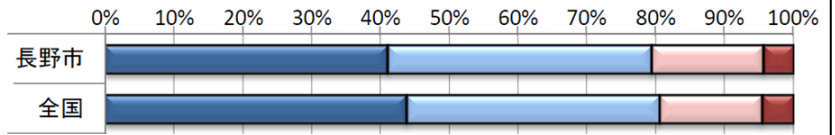
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

肯定的回答が比較的低い質問

算数の勉強は好きですか。



算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。

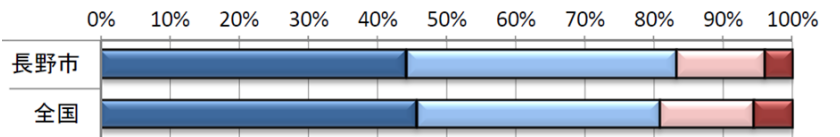


■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

【中学校】

肯定的回答が比較的高い質問

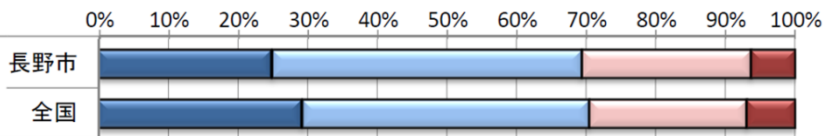
数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。



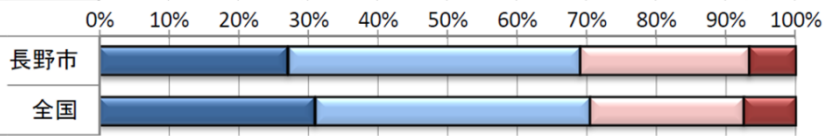
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

肯定的回答が比較的低い質問

数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。



数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか。



■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

② 指導改善の方向

小学校、中学校ともに、「問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いています」と回答する児童生徒が多く、ノートを記録することを大切にしている様子が見えます。

一方、「算数（数学）の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ（根拠）を理解するようにしている」と回答する児童生徒は、小学校、中学校ともに少なく、わけ（根拠）の理解が不十分な中で、公式やきまりを覚えることにとどまっていることが考えられます。

その他、小学校では、「算数の勉強が好き」と回答する児童が少なく、中学校では「あきらめずに色々な方法を考える」と回答する生徒が少ない点は、改善点と考えられます。

今後、算数・数学の指導では、「児童生徒の興味関心を高めること」「理由や根拠を考える活動」「児童生徒の多様な考えが位置付く授業」を大切にすることが必要です。

II 「第二期しなのきプラン」に照らした今後の方向(詳細はP11以降を参照)

本市では平成30年4月に「第二期しなのきプラン」を策定し、長野市の子どもたちの「知・徳・体」をバランスよく伸ばしていくための施策を展開しています。ここでは、本年度の学力・学習状況調査の各教科の調査、質問紙調査から分析した現状と今後の方向を、第二期しなのきプランにそってまとめました。

知：確かな学力の育成のために

知

- 小学校では全体的に、全国平均並みの正答率であり、国語A、理科は全国平均を上回っています。しかし、算数Aと算数Bは、昨年をやや下回っています。正答率40%以下の児童の割合は、すべての科目で全国平均より低く、下位の層が少ない状況です。
- 中学校では全体的に、全国平均並みの正答率となっていますが、数学A、数学Bで全国平均をやや下回っています。正答率40%以下の生徒の割合は、すべての科目で昨年よりも減少しており、下位の層が少なくなりつつあります。
- 「未来力」「自律力」「絆力」「実践力」にかかわっては、概ね全国並の回答結果となっています。「学級の友だち(生徒)の間での話し合う活動」については、中学校において全国比で低くなっています(P11~P12)。
- 学習習慣・家庭学習では、中学校で、平日に学校以外の場で1時間以上学習している生徒の割合が、全国より高くなっている一方、家で予習・復習をしている児童生徒は、低くなっています(P12)。

徳：豊かな心の育成のために 体：基礎的な体力の育成のために

徳 体

- 「徳」にかかわっては、概ね全国並の回答結果となっていますが、中学校では「自分にはよいところがある」と考えている生徒が、全国より低くなっています(P13)。
- 「体」にかかわっては、小学校で、毎日同じくらいの時刻に寝ている児童が全国より高くなっていますが、中学校では昨年比でやや低くなっています(P13)。

2つの連携：学校間の連携、地域・家庭・事業所との連携

学連 地連

- 授業や課外活動における地域の人材の活用や連携については、全国と比べて低くなっていますが、他の多くの項目が全国比を上回り、学校間連携、地域・家庭・事業所との連携が大きく進んでいることがうかがえます。(P14)

取り組みの方向 「第二期しなのきプラン」の重点取り組みをさらに推進します。

第二期しなのきプラン

目指す人間像
グローバルな視野を持ちながら、ローカルにたくましく生きる自立した18歳



重点取り組みの例1

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教員研修等の充実
- ◇市教育センターでの研修の充実、市立長野中学等の先進的な事例の広報 など

重点取り組みの例2

- 知・徳・体をバランスよく伸ばすための実践研究
- ◇市教育センターの研究委員会等による実践研究、公開授業の動画の活用 など

資料 質問紙調査から見た「第二期しなのきプラン」の現状

長野市では、平成27年4月に、「しなのきプラン29」を9か年計画の第一期の3か年計画として策定しました。そして、平成30年4月から、「しなのきプラン29」の成果と課題をもとに、「第二期しなのきプラン」を実施しています。ここでは、質問紙調査をもとに、「第二期しなのきプラン」の現状を分析します。

第二期しなのきプラン

目指す人間像 グローバルな視野を持ちながら、ローカルにたくましく生きる自立した18歳

長野市教育の基本理念である「明日を拓く豊かな人間性の実現」に向け、教職員の力量の向上を教育活動の基盤と考え、学校、地域、家庭、事業所等の更なる連携の中で、「知・徳・体」をバランスよく伸ばし、子どもたちに「生きる力」を育むための支援を行います。



長野市が大切にしたい資質能力

長野市では、学力を、次の3つに分類し、「知識及び技能」や「思考力・判断力・表現力等」だけでなく、「学びに向かう力・人間性等」も参考指標として、数値を基に分析することにしました。「学びに向かう力・人間性等」で長野市が大切にしたい主な資質・能力は、以下の4つの力（未来力、自律力、絆力、実践力）と考えています。

	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	【長野市が大切にしたい資質・能力】 学びに向かう力・人間性等
測定方法	○全国学力・学習状況調査のA問題 ○標準学力検査（NRT）	○全国学力・学習状況調査のB問題	○全国学力・学習状況調査の質問紙調査

【長野市が大切にしたい主な資質・能力】 学びに向かう力・人間性等	
未来力	目標と見通しを持ち、努力を継続できる力
自律力	規範意識を持ち、自己をコントロールしながら、自己発揮する力
絆力	他者を尊重し、他者と協働して活動に取り組んだり、人間関係を築こうとしたりする力
実践力	獲得した知識及び技能、思考力・判断力・表現力を駆使して、粘り強く課題に対応し、課題解決に向けて行動する力

1 重点1「知」

ここでは、上記の4つの力に関わるもの及び、学習習慣・家庭学習に関わるものを分類して集計しました。

- ・表中の値は、全国を100としたときの、長野市の肯定的な回答（「そう思う」「どちらかというと思う」を合計）の数値。これ以降の表も同様。（ ）内の数値はH29の結果。
- ・ここでは、昨年と比較して3ポイント以上の差があったものを△、▼として表しています。
- ・103以上は **青** の塗りつぶし、97未満は **赤** の塗りつぶしとして表しています。

(1) 未来力（目標と見通しを持ち、努力を継続できる力）

質問番号	質問事項	小学校	中学校
(3)	将来の夢や目標を持っていますか	98.4 (99.5)	98.2▼ (102.1)
(21)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	104.2 (103.6)	106.2△ (102.9)

(33)	算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	100.7 (99.7)	100.0△ (96.1)
(43)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	100.8	98.7
(2) 自律力(規範意識を持ち、自己をコントロールしながら、自己発揮する力)			
質問番号	質問事項	小学校	中学校
(4)	学校のきまり(規則)を守っていますか	97.9 (98.8)	99.5 (100.1)
(9)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	101.7 (101.3)	98.7 (100.6)
(10)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	100.3 (98.8)	99.4 (98.3)
小(55) 中(52)	5年生(中学校1、2年生)までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	102.5 (101.2)	100.0 (101.2)
(3) 絆力(他者を尊重し、他者と協働して活動に取り組んだり、人間関係を築こうとしたりする力)			
質問番号	質問事項	小学校	中学校
(5)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	99.5 (100.2)	100.5 (100.5)
(6)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	100.2 (99.6)	100.9 (100.4)
小(57) 中(54)	学級の友だち(生徒)の間に話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	98.2 (96.6)	95.2 (96.1)
(4) 実践力(獲得した知識及び技能、思考力・判断力・表現力を駆使して、粘り強く課題に対応し、課題解決に向けて行動する力)			
質問番号	質問事項	小学校	中学校
(22)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	104.1△ (100.5)	101.0 (100.0)
(32)	算数(数学)の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	99.8 (97.3)	97.2▼ (101.5)
(42)	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	99.1	98.2
小(56) 中(53)	5年生(中学校1、2年生)までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	99.2 (96.8)	98.9 (98.1)
(5) 学習習慣・家庭学習			
質問番号	質問事項	小学校	中学校
(10)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	100.3 (98.8)	99.4 (98.3)
(11)	家で、学校の宿題をしていますか	99.5 (98.8)	98.4▼ (103.0)
(12)	家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	96.8	89.1
(14)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか ※1時間以上学習している生徒を集計	101.7 (100.9)	110.1△ (106.0)

- 「未来力」では、「将来の夢や目標」の質問項目で、中学校において、昨年よりも低くなっています。「地域や社会で起きている問題や出来事への関心」は、小・中ともに全国比、昨年比で上回っています。
- 「自律力」では、概ね全国並の結果となっています。
- 「絆力」では、「学級の友だち（生徒）の間で話し合う活動」の質問項目で、中学校において、やや低い結果となっています。他は概ね全国並となっています。
- 「実践力」では、概ね全国並の結果となっていますが、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」については、小学校で全国比を上回っています。
- 「学習習慣・家庭学習」については、「一日あたり、1時間以上の家庭学習」の回答が、特に中学校で高くなっています。「授業の予習、復習」の質問項目は、全国比を下回っています。

2 重点2「徳」

第二期しなのきプランでは、「徳」にかかわって、「道徳教育・人権教育の充実」「いじめ、不登校対策の充実」「一人一人を大切にされた教育環境の整備」を重点取り組みとして掲げています。児童生徒質問紙の質問項目のうち、この取り組みにかかわるものを分類して集計しました。

質問番号	質問事項	小学校	中学校
(1)	自分には、よいところがあると思いますか	100.5 (102.7)	95.4 (97.6)
(2)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	99.2	98.4
(5)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	99.5 (100.2)	100.5 (100.5)
(6)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	100.2 (99.6)	100.9 (100.4)
(22)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	104.0△ (100.5)	101.0 (100.0)

○全体的には、概ね全国並の結果となっていますが、「自分には、よいところがある」という質問項目では、中学校において、全国比を下回っています。

3 重点3「体」

第二期しなのきプランでの重点3の「体」にかかわっては、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果等から現状をとらえる予定ですが、食育の取り組みとして「早寝早起き朝ごはん」の推進を掲げています。児童生徒質問紙の質問項目のうち、この取り組みにかかわるものを分類して集計しました。

質問番号	質問事項	小学校	中学校
(7)	朝食を毎日食べていますか	101.8 (101.5)	101.6 (102.4)
(8)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	104.5 (101.6)	99.5▼ (102.8)
(9)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	101.7 (101.3)	98.7 (100.6)

○全体的には、概ね全国並ですが、毎日同じくらいの時刻に寝ている児童が、小学校において全国比を上回っています。

第二期しなのきプランでは、「学校間の連携」「地域・家庭・事業所との連携」を推進しています。ここでは、児童生徒質問紙、学校質問紙の質問項目のうち、この取り組みにかかわるものを分類して集計しました。

(1) 2つの連携 (児童生徒質問紙)			
質問番号	質問事項	小学校	中学校
(19)	5年生(中学校1、2年生)までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	95.3	82.5
(20)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	134.3 (135.6)	114.3▼ (120.9)
(21)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	104.2 (103.6)	106.2△ (102.9)
(22)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	104.0△ (100.5)	101.0 (100.0)

(2) 学校間の連携 (学校質問紙)			
質問番号	質問事項	小学校	中学校
小(21) 中(20)	前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	105.5	108.4
小(77) 中(74)	前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	95.8△ (79.1)	103.5△ (77.9)

(3) 地域・家庭・事業所との連携 (学校質問紙)			
質問番号	質問事項	小学校	中学校
小(53) 中(51)	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	95.6▼ (101.2)	95.1▼ (108.9)
小(54) 中(52)	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート(補助)を行いましたか	116.7△ (111.2)	113.6△ (79.6)
小(56) 中(54)	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導を行いましたか	93.7△ (76.1)	99.0 (97.9)
小(57) 中(55)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行いましたか	100.9△ (88.4)	104.0 (106.4)
小(60) 中(57)	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか	102.4 (99.6)	101.4△ (98.3)
小(61) 中(58)	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、小(60)中(57)の質問にあるような保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか	134.9△ (108.6)	137.2△ (107.6)
小(62) 中(59)	小(60)中(57)の質問にあるような保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	104.8△ (97.0)	108.1△ (102.2)

- 全体的に、全国比、昨年比を上回る質問項目が多くあります
- 児童生徒質問紙では、「地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会」の質問で、全国比を下回っており、特に中学校で全国との差が大きくなっています。
- 学校質問紙では、「地域の人材を外部講師として招聘した授業」の質問で、全国比、昨年比を下回っています。
- 「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かした保護者や地域の人との協働」の質問では、全国比、昨年比を大きく上回っています。